

# LIXIL アルミ多段柱 (ハイスクリーンフェンス) 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号 記号の意味



**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## 一般情報に関する記号



**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>



**警告**

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。



**注意**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

## <施工上のご注意>



**注意**

- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は200mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。

## <基礎工事について>



**注意**

- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食の原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系混和剤をご使用ください。
- 指定基礎寸法は必ず守ってください。

## ■ 梱包明細表

### ① 柱セット

名称	略図	員数
柱		1

### ② 中間ブラケットセット

名称	略図	員数
中間ブラケット		1
ブラケット裏板		1
すきま隠し材		2
②-① φ5×10トラスタッピンネジ3種 D=8		1
②-② φ4×6トラスタッピンネジ3種 D=8		2

### ③ 上下ブラケットセット

名称	略図	員数
上ブラケット		1
下ブラケット		1
柱キャップ		1
ブラケット裏板		2
③-① φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9		1
③-② φ5×10トラスタッピンネジ3種 D=8		1
③-③ φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		1
取付説明書	—	1

## 1. 基本寸法図

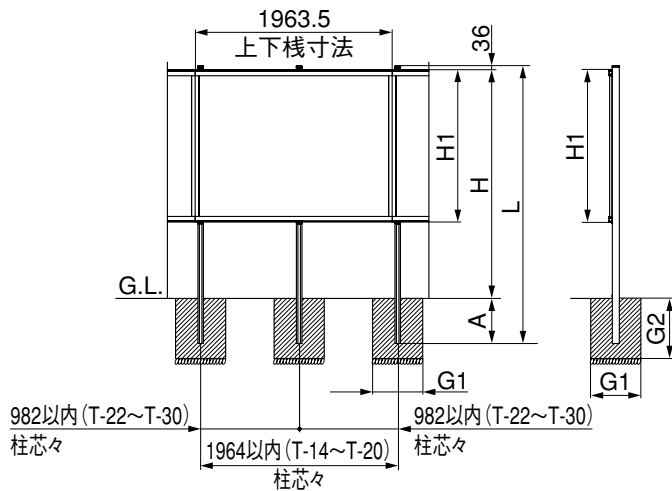


図1-1 1段施工基本図

表1-1 1段施工基本寸法表

呼称	H	L	H1	A	G1	G2	G3
T-14	1303.0	1639.0		300	400	400	300
T-16	1503.0	1889.0		350	500	500	300
T-18	1683.0	2069.0		350	500	500	300
T-20	1783.0	2319.0	1120	400	500	600	300
T-22	2046.0	2482.0	1320	400	500	600	300
T-24	2283.5	2719.5	1520	400	500	600	300
T-26	2483.5	3019.5		500	600	700	300
T-28	2683.5	3219.5		500	600	700	300
T-30	2883.5	3419.5		500	600	700	300

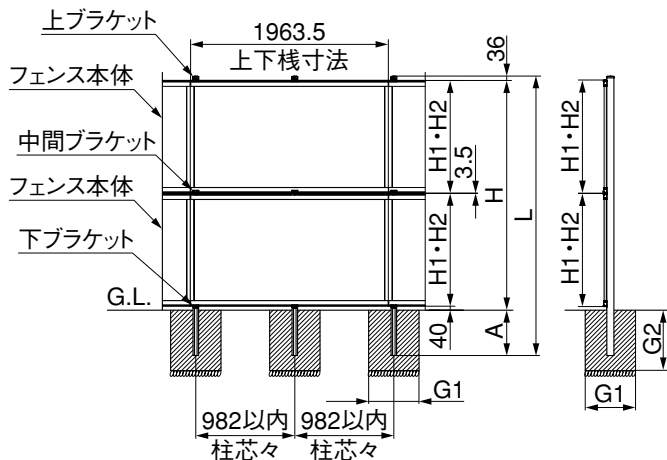


図1-2 2段施工基本図

表1-2 2段施工基本寸法表

呼称	H	L	H1・H2	H1・H2	A	G1	G2	G3
T-24	2283.5	2719.5	1120	1120	400	500	600	300
T-26	2483.5	3019.5	1120	1320	500	600	700	300
T-28	2683.5	3219.5	1320	1320	500	600	700	300
T-30	2883.5	3419.5	1320	1520	500	600	700	300

**注意**

- 柱はブロックに施工しないでください。高尺のため強い風圧を受け飛散事故の原因になります。
- 基礎が沈降したり傾いたりするのを防止するために必ず割栗石を敷いてください。

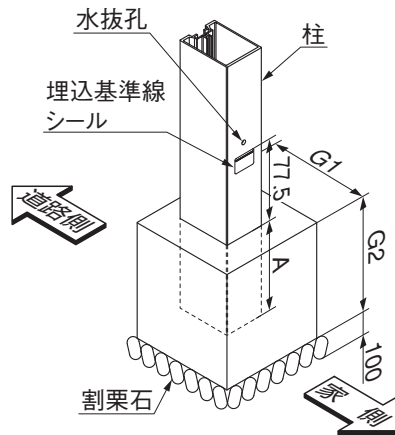


図1-3 独立基礎の場合

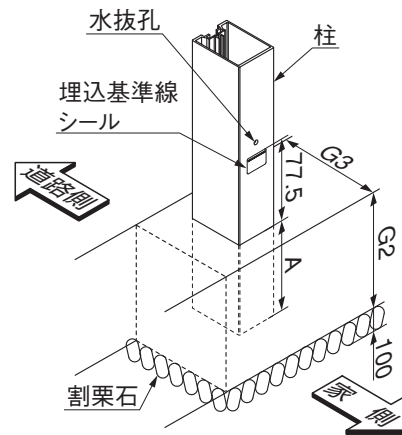


図1-4 連続基礎の場合

**ポイント**

- 埋込みは、埋込基準線上面より77.5mm下で行なってください。(図1-3, 図1-4参照)

## 2. フェンス本体・柱の取付け

※すきま隠し材は上段フェンスを設置する前に取付けてください。

### 2-1 下ブラケット・フェンス本体の取付け

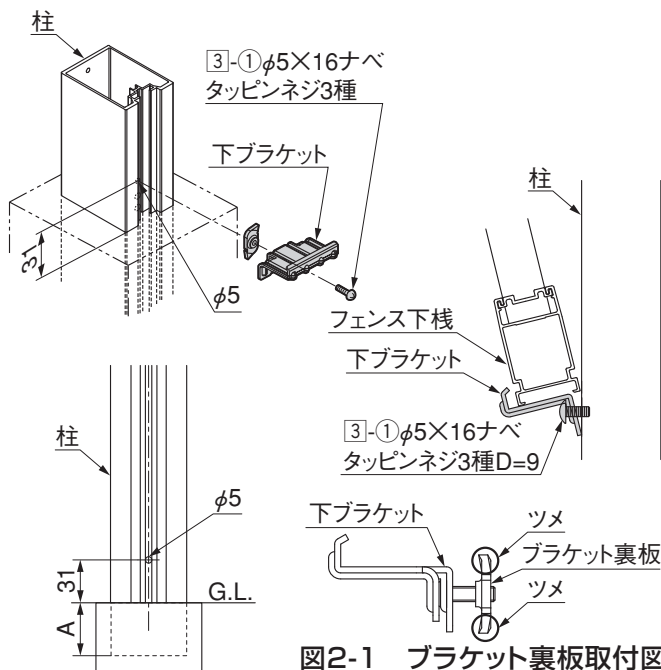


図2-1 ブラケット裏板取付図

- 1 中間ブラケットとブラケット裏板を2-1で仮止めしてください。

**ポイント**

- ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を下ブラケットに向けてください。(図2-1参照)
- 2 図のA+31mmにφ5mmの孔加工を行なってください。

**ポイント**

- 必ずφ5mmの孔をあけてください。下ブラケットはこの孔をあけないと取付けられません。
- 3 下ブラケットを3-1で仮止めしてください。
  - 4 フェンス本体を下ブラケットにのせてください。
  - 5 フェンス下棧の溝に下ブラケットの先端がはまっていることを確認し、下棧を3-1でしっかりと固定してください。

## 2. つづき

### 2-2 中間ブラケットの取付け

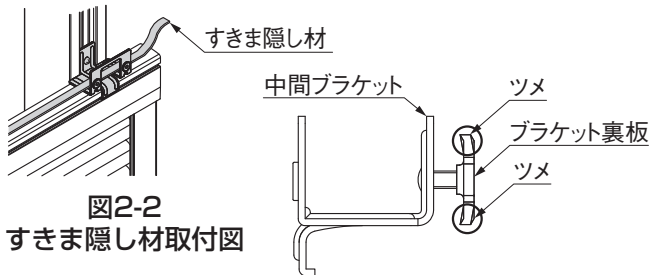
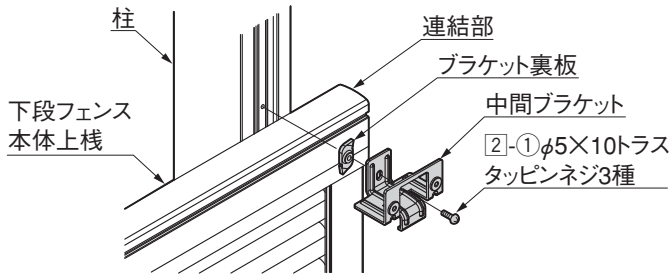
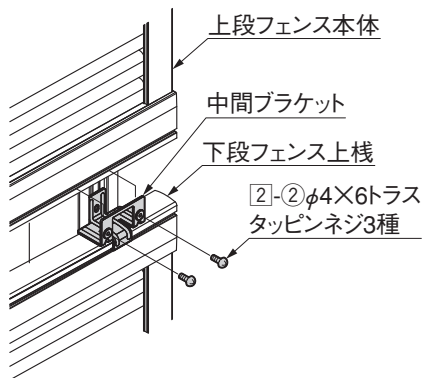


図2-2  
すきま隠し材取付図

図2-3 ブラケット裏板取付図



### 2-3 上ブラケットの取付け

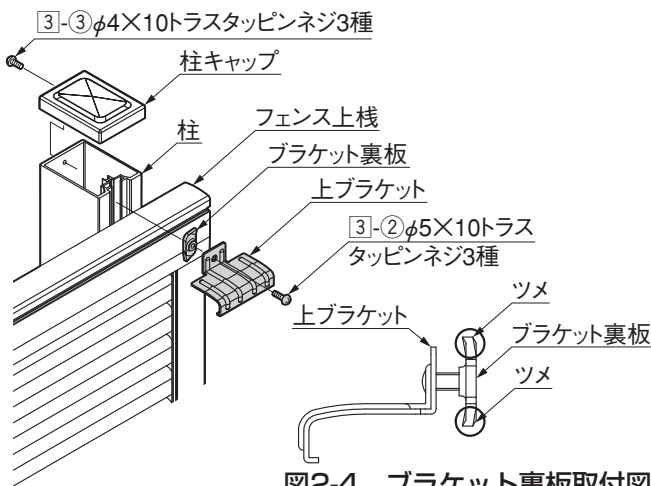


図2-4 ブラケット裏板取付図

- 1 中間ブラケットとブラケット裏板を2-1で仮止めしてください。

#### ポイント

- ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を中間ブラケットに向けてください。(図2-3参照)

- 2 1のブラケット裏板を柱の溝に入れ、中間ブラケットをフェンス本体上棧に上から軽く押しつけながら2-1でしっかりと固定してください。
- 3 フェンス本体上棧の上部にすきま隠し材を貼付けてください。(図2-2参照)

- 4 上段フェンスを中間ブラケットにのせてください。
- 5 中間ブラケットの2ヶ所の孔に2-2を取付けてください。

#### ポイント

- 中間ブラケットには必ず2-2を取付けてください。これを取付けると耐風圧強度が大幅に低下します。

- 1 上ブラケットとブラケット裏板を3-2で仮止めしてください。

#### ポイント

- ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を上ブラケットに向けてください。(図2-4参照)

- 2 1のブラケット裏板を柱の溝に入れ、上ブラケットをフェンス本体上棧に上から軽く押しつけながら3-2でしっかりと固定してください。
- 3 柱キャップを柱にかぶせ、3-3で固定してください。

取説コード

C328

QBK603361C  
200502A\_1006  
201607D\_1049